MITACHI
PROfessional TOOLs

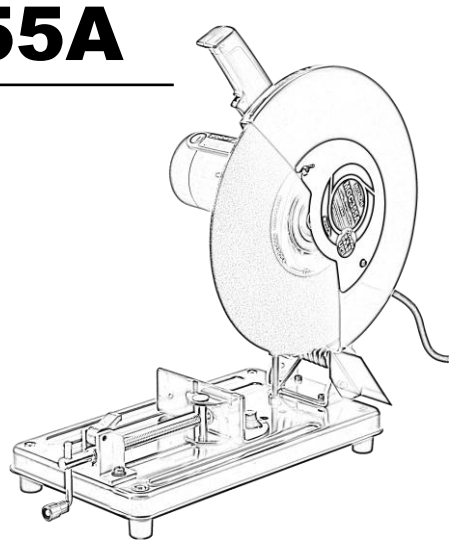
ミタチ　高速切断機

Cut Off Machine

305mm MGC305A

355mm MGC355A

取扱説明書



■ このたびは、ミタチ 高速切断機をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
■ 安全に能率よくお使いいただくため、ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までよくお読みになり、本機の性能などを十分にご理解いただき、正しくご使用くださいますようお願い致します。

なお、この取扱説明書はお読みになった後、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。

安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」をすべてよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- ご使用上の注意事項は「⚠警告」「⚠注意」「注」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。
⚠注意	誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、「⚠注意」に記載した事項でも状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。
いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- 他の人に貸し出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡しください。

⚠ 警 告

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
・ ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。

2. 作業場の周囲状況も考慮してください。
・ 電動工具は、雨中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。
・ 作業場は十分に明るくしてください。
・ 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。

3. 感電に注意してください。
・ 電動工具を使用中、身体をアース(接地)されているものに接触させないようにしてください。(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)

4. 子供を近づけないでください。
・ 作業者以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
・ 作業者以外、作業場へ近づけないでください。

5. 使用しない場合は、きちんと保管してください。
・ 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または錠のかかる所に保管してください。

6. 無理して使用しないでください。
・ 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力にあった速さで作業してください。

7. 作業にあった電動工具を使用してください。
・ 小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行う作業には使用しないでください。
・ 指定された用途以外に使用しないでください。

8. きちんとした服装で作業してください。
・ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがありますので着用しないでください。
・ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお薦めします。
・ 長い髪は、帽子やヘアカバー等で覆ってください。

9. 保護メガネを使用してください。
・ 作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。

10. 防音保護具を着用してください。
・ 騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い(イヤマフ)などの防音保護具を着用してください。

11. 集塵装置が接続できるものは接続して使用してください。
・ 電動工具に集塵機などが接続できる場合は、これらの装置に確実に接続し、正しく使用してください。

12. コードを乱暴に扱わないでください。
・ コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
・ コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。

13. 加工するものをしっかりと固定してください。
・ 加工するものを固定するために、クランプや万力などを使用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。

14. 無理な姿勢で作業をしないでください。
・ 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。

15. 電動工具は、注意深く手入れをしてください。
・ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
・ 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
・ コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店またはサンコーミタチサービスセンターに修理を依頼してください。
・ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
・ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースなどが付かないようにしてください。

16. 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
・ 使用しない、または、修理する場合。
・ 刃物、トイシ、ビットなどの付属品を交換する場合。
・ その他危険が予想される場合。

17. 調節キーやレンチ等は、必ず取り外してください。
・ 電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取り外してあることを確認してください。

18. 不意な始動は避けてください。
・ 電源コンセントにつないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
・ さし込みプラグを電源コンセントに差し込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。

19. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。
・ 屋外で使用する場合、キャプタイヤコード、またはキャプタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

20. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
・ 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
・ 常識を働かせてください。
・ 疲れている場合は、使用しないでください。

21. 損傷した部品がないか点検してください。
・ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
・ 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の損傷、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
・ 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店、またはサンコーミタチサービスセンターに修理を依頼してください。
・ スイッチで始動、および停止操作の出来ない電動工具は、使用しないでください。スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店、またはサンコーミタチサービスセンターに修理を依頼してください。

22. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。
・ 本取扱説明書、および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがありますので使用しないでください。

23. 電動工具の修理は、専門店に依頼してください。
・ この製品は、該当する安全規格に適合していますので改造しないでください。
・ 修理は、必ずお買い求めの販売店、またはサンコーミタチサービスセンターにお申し付けください。ご自分で修理すると、事故やけがの原因となります。

高速切断機　使用上のご注意

先に電動工具ご使用の一般的注意事項を述べましたが、高速切断機をご使用の際には、さらに次に述べる注意事項を守って下さい

⚠ 警 告

◆ **使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。**
・表示を超える電源で使用すると、回転が異常に高速となり危険を伴います。

◆ **ディスクカバー、カバープレートは、必ず取り付けて使用してください。**
・トイシが破損したとき、けがの原因になります。

◆ **使用するトイシは、最高使用周速度72m/s（4,300m/min）以上の正規のトイシを取り付け、切断してください。**
・正規以外のトイシを使用しますと、トイシが破壊し、けがや死亡事故につながります。

◆ **トイシの外周面以外は、使用しないでください。加工物の切断、または凹部、溝などを加工するとき、トイシをこじることがないようにしてください。**
・使用中にトイシが破損し、けがの原因になります。

◆ **トイシにヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。**
・異常があると、トイシが破損し、けがの原因になります。

◆ **ご使用前に、必ず試運転を行ってください。**
・試運転を行わないと、作業中に破損によるけがの恐れがあります。

◆ **水、研削液などは使用しないでください。**
・乾式のため、トイシの破損によるけがや感電の恐れがあります。

◆ **使用中は、回転部に手や顔などを近づけないでください。**
・研削粉や火花が飛び、けがの原因になります。

◆ **研削粉は火花となって飛散するので、引火しやすいもの、傷つきやすいものは、安全な場所に遠ざけてください。また、研削火花を直接手足などに当てないようにしてください。**
・ガソリン・ガス・塗料・接着剤などの引火性のある危険物の近くでは引火・爆発の恐れがありますので絶対に使用しないでください。火災ややけどの原因になります。

◆ **トイシの交換は、本取扱説明書に従い正しく行ってください。**
・トイシが破損し、けがをする恐れがあります。
〔事業者の方へ〕
トイシの取り換え・試運転は、法・規則で定める特別教育を受けた人に行わせてください。
関連法令 労働安全衛生規則 （第36条）
労働安全特別教育過程（第1条、第2条）

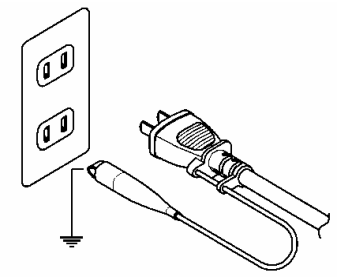
◆ **使用中、機械の調子が悪かったり異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店、またはサンコーミタチサービスセンターに点検修理を依頼してください。**
・そのまま使用していると、発火、感電の恐れがあり、けがの原因になります。

◆ **誤って落としたり、ぶつけたときは、トイシや機体などに破損、亀裂、変形等がないことをよく点検してください。**
・破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

◆ **延長コードを使用するときは、アース線を備えた３芯コードをご使用ください。**
・アース線のない2芯コードですと、感電の原因になります。

◆ **アース線または漏電遮断器を必ず取り付けてください。**
〔事業者の方へ〕
水など導電性の高い液体によって湿潤している場所、鉄板上、鉄骨上、定盤上等の場所で使用する場合、及び銘板表示200Vの電動工具については、漏電遮断器に接続してご使用願います。上記の場所以外で使用する100Vの電動工具については、図示のアースクリップに接続して確実に接地してください。確実でないと感電の恐れがあります。

関連法令 労働安全衛生規則 （第333条、第334条）
電気設備の技術基準(第 18条、第 41条)



⚠ 注　意

◆ **傾斜のない平たんな場所にすえ付けて、安定した状態にして下さい。**
・不安定な状態では作業中、材料が動いてトイシが破損し、けがの原因になります

◆ **トイシや付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。**
・確実でないと、外れたりし、けがの原因になります。

◆ **新しいトイシを取り付け、はじめてスイッチを入れるときは、トイシの露出から一時体を避けて下さい。**
・トイシが破損したとき、けがの原因になります。

◆ **試運転を行ってください。**
・試運転せずに作業を開始すると、思わぬけがの原因になります。

◆ **高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。また、コードを引っ掛けたりしないでください。**
・材料や機体などを落としたときなど、事故の原因になります。

◆ **指定以外の刃物での作業はしないでください。**

◆ **騒音から耳を保護するため、耳栓を着用してください。**

◆ **材料は、本体付属のバイスで確実に固定してください。**
・材料の固定が不十分ですと材料が飛んだり、トイシが破壊してけがの原因になります。

◆ **トイシは、水分や湿気のない乾燥した場所に保管してください。**
・水分や湿気によって強度が低下し、トイシ破壊の原因になります。

◆ **回転させたまま、放置しないでください。**

◆ **切断しようとする材料の上に手を置いたり、コードの上に材料を乗せたまま作業しないでください。**

◆ **切断直後の材料は、高温になっているので触れないでください。**
・やけどの原因になります。

トイシを正しくご使用いただくために

⚠ 警　告

誤った使い方をした場合、トイシが破壊して死亡または重傷をまねく恐れがあります。

すべきこと

1. トイシの取り扱いは、**“ころがすな・落とすな・ぶつけるな”**の三原則を守ること。
トイシは、**直射日光をさけ、湿気のない場所で保管**すること。
2. 機械へ取り付ける前に、トイシのひび・われ・かけなどの**外観検査**をすること。
3. トイシに表示されている**最高使用周速度・寸法**などが、**機械に適合**していることを確認すること。
4. フランジは、外径と接触幅が**左右等しく、適正なもの**を使用すること。
5. トイシにラベルがついている場合は、それを使用すること。
6. トイシカバーは、常に**トイシの1／2以上**を覆う適正なものを使用すること。
7. その日の**作業開始前に1分間以上、**トイシを**取り替えたときは3分間以上の試運転**をすること。携帯用グラインダについては安全な場所で試運転をすること。
8. トイシと加工面との角度は**15°～30°で作業**すること。
9. 作業中は、保護メガネ・防じんマスク・耳せん・手袋などの**保護具を着用**すること。
10. 火花の飛散を、しゃへい板などで防止すること。
11. 呼吸器疾患を防止するために、**粉じんの発散防止と十分な換気**をすること。

してはいけないこと

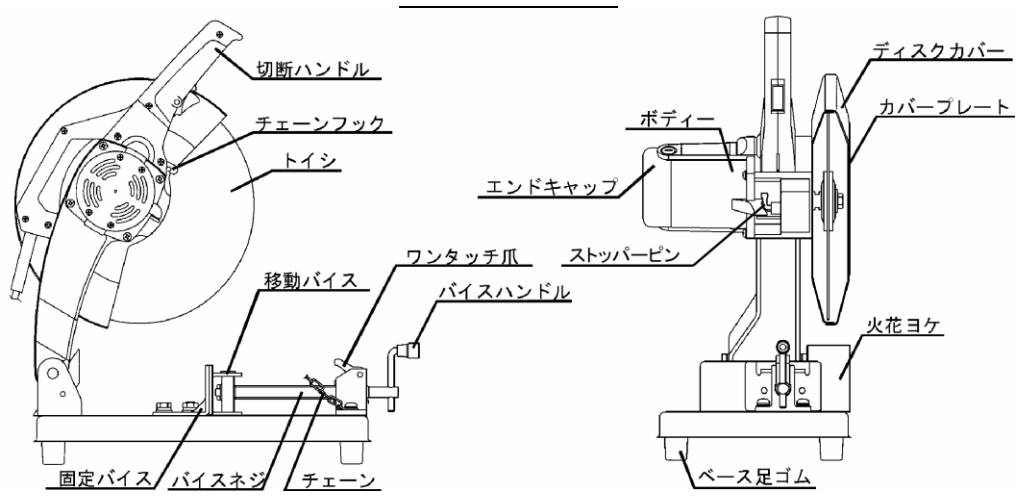
1. 落としたり、ぶつけたトイシや油ぬれのあるトイシ、検査で異常があったトイシは使用しないこと。
2. トイシの穴径が機械に適合しない場合、**無理に押し込んだり、穴径の改修をしない**こと。
3. トイシに表示されている**最高使用周速度をこえて使用しない**こと。
4. トイシとの**接触面に変形・きず・よごれ・さびのあるフランジは使用しない**こと。
逃げ部のないフランジは使用しないこと。
5. トイシをフランジへ取り付ける際は、**締めすぎない**こと。
6. トイシの**使用面以外は、使用しない**こと。
7. トイシカバーを取り付ける前に、トイシを回転させないこと。
8. トイシを無理に加工物に押しつけたり、溝を掘ったり、溝の中を研削しないこと。
9. **回転中のトイシ**には直接身体を**触れない**こと。
10. **試運転時には、トイシ**の回転方向の前には**立たない**こと。
11. 携帯用グラインダ作業では、**トイシの回転が完全に止まらないうちに、グラインダを**台・床・加工物などの上に**置かない**こと。
12. **引火・爆発の恐れのある場所では研削作業をしない**こと。
13. 火花の飛ぶ範囲以内には立ち入らないこと。
14. **安全教育**を受けていない方は、トイシの取り替え・試運転をしないこと。

製品仕様

型式		MGC305A	MGC355A
使用電源		単相交流50/60Hz	
使用電圧		100V	
全負荷電流		15A	
無負荷回転数		3,800min^{-1}	
電動機		単相交流直巻整流子電動機	
トイシ寸法		外径φ305×刃厚4.0×穴径φ25.4mm	外径φ355×刃厚4.0×穴径φ25.4mm
トイシ最高使用周速度		72m/s（4,300m/min）	
トイシからベース面までの寸法		110mm	85mm
最大切断寸法	直角	φ100 角85x85 角65x175	φ115 角100x100 角85x175
	45°	φ70(65)　角70x70(65x65) *()は全ネジプレート取り付け時	
バイス最大開き		185mm(180mm)*()は全ネジプレート取り付け時	
質量		13.0kg	13.5kg
コード		ポッキンプラグ付3芯キャプタイヤケーブル 3.5m	
標準付属品		トイシ305mm(本体装着)	トイシ355mm(本体装着)
		17mm メガネレンチ	

●純正オプション
・全ネジプレート　　全ネジ等の小径材料切断、切断目安、角度切りサポート

各部の名称



用　途

- 一般鋼材、構造用鋼材　等の切断。
- 丸棒、丸パイプ、全ネジ　等の切断。

＊　取り付け方法については、『トイシの取り付け・取り外し』の項目をご覧ください。

ご使用前の準備

★ご使用になる前に次の準備をすませてください。

1. **漏電遮断器の確認**……
本機が接続される電源に感電防止用漏電遮断装置が設置されているか確認してからお使いください。
また、本機は必ずアース（接地）を行ってください。定格感度電流15mA以下、動作時間0.1秒以下の電流動作型漏電遮断器を設置されている電源でお使いになる場合でも、より安全の為に接地されるようにお薦め致します。
2. **作業環境の整備・確認**……
作業する場所が注意事項にかかげられているような適切な状態になっているかどうか確認してください。

3. **延長コード……**

電源コンセントの位置が離れていて延長コードが必要なときは、製品を最高の能率で故障なくご使用いただくため、電流を流すのに十分な太さのものをできるだけ短くしてご使用ください。

・次の表は、本機に継ぐことのできるコードの太さ(公称断面積)とその最大長さを示します。

芯線断面積	銘板記載の定格電流値		
	5A以下	5～10A以下	10～15A以下
0.75mm²	20m	―	―
1.25mm²	30m	15m	10m
2mm²	50m	30m	20m

注)上表は100V品の場合であり、200V品の場合には最大長さはこの2倍(以下)です。
延長コードは、アース(接地)できる3芯キャプタイヤケーブルをお使いください。

4. **チェーンを外す……**

出荷時は、チェーンで可動部を固定してありますのでハンドルを少し下に押し、チェーンをチェーンフックから外してください。

ご使用前に

⚠ 警 告

ご使用前に次のことを確認してください。1～6については、さし込みプラグを電源コンセントに差し込む前に確認してください。

1. **使用電源の確認**

必ず銘板に表示してある電源でご使用ください。表示を超える電圧で使用するとモータの回転数が異常に高速になり、トイシや機体が破損する恐れがあります。また、直流電源で使用しないでください。製品の損傷を生じるだけでなく、事故の原因になります。

2. **スイッチが切れていることの確認**

スイッチが入っているのを知らずにさし込みプラグを電源コンセントに差し込むと、不意に起動し思わぬ事故のもとになります。

3. **ディスクカバー、カバープレートの確認**

ディスクカバー、カバープレートはトイシが破損した場合の保護のためのものですから、必ず取り付けてください。

4. **ストッパーピンの確認**

トイシ交換後、ストッパーピンを離したときに、確実に戻ることを確認してください。
確実に戻っていないと、破損の原因になり大変危険です。

5. **トイシの確認および取り付け**

トイシは正規のものか、またヒビや割れがないか十分にお調べください。トイシは正規の状態に取り付けられ、十分締付けられているか点検してください。

6. **電源コンセントの点検**

さし込みプラグをさし込んだとき、電源コンセントがガタガタだったり、さし込みプラグがすぐ抜けるようでしたら修理が必要です。お近くの電気工事店などにご相談ください。そのままお使いになりますと、過熱して事故の原因になります。

7. **試運転を行う**

⚠ 注 意

- **作業中は、必ず保護メガネを使用して下さい。**
- **機体に衝撃をかけるとトイシにヒビが入ったり、割れたりする恐れがありますので、取り扱いには十分注意してください。**
- **万一機体を誤ってぶつけたり、落としたりした時は、必ずトイシのヒビ割れまた、機体に損傷が無いことを十分確認してください。**

トイシにヒビ・割れがあるのを気づかずに作業しますと非常に危険です。
作業前に人のいない方向にトイシを向け、必ず試運転を行って異常がないことを確認してください。

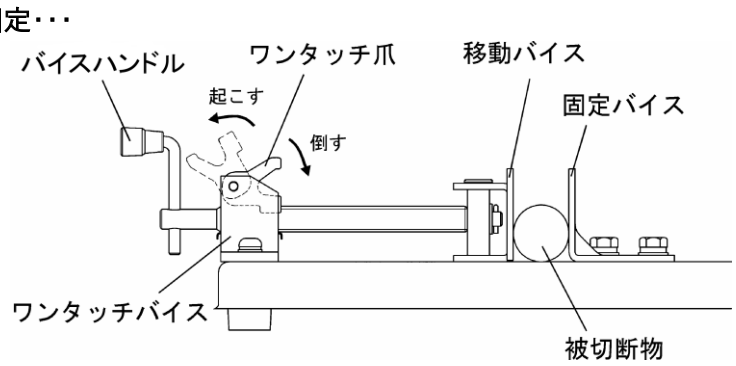
・試運転時間　トイシ交換のとき…… 3分間以上
その日の作業開始のとき……1分間以上です。

ご使用方法

⚠ 警 告

- **本機のスイッチを入れるときは、本機の回転部が加工材などに接触していないことを確認してください。**
  接触していることを知らずにスイッチを入れると、トイシが破壊することがあり、けがの原因になります。
- **新しいトイシを取り付け、初めてスイッチを入れるときは、トイシの露出部から必ず一時身体を避けてください。作業中は、必ず保護メガネを使用してください。**
- **トイシを回転させたまま被切断物の取り付け、取り外しをしないでください。**
  被切断物がトイシに巻き込まれて飛散するなど、けがの原因になります。
- **被切断物は、本体付属のバイスで確実に固定して下さい。**
  被切断物の固定が不十分ですと、被切断物が飛散したり、トイシが破壊してけがの原因になります。

1. **被切断物の固定・・・**



(1)取り付け

本機はワンタッチバイス品です。

固定バイスと移動バイスとの間に被切断物をはさみ、ワンタッチ爪を倒した状態でバイスハンドルを押しながら、移動バイスを被切断物に軽く当ててください。

次に、バイスハンドルを右回しして被切断物を確実に固定してください。

(2)取り外し

切断作業が終わったらバイスハンドルを左に2～3回まわして緩め、ワンタッチ爪を起こしてバイスハンドルを引き、被切断物を取り外してください。

2. **スイッチの操作・・・**

スイッチは指で引くと入り、離すとスイッチが戻り切れます。スイッチを引いてからストッパーを押しますと、スイッチから指を離してもスイッチが入ったままになり、連続運転に便利です。再びスイッチを引くとストッパーがはずれ、スイッチから指を離すとスイッチが切れます。

3. **切込み・・・**

1) スイッチを入れ回転が完全に上がりましたら、ハンドルを静かに押し下げ被切断物に近づけます。
2) トイシが被切断物に接したら、さらにハンドルを徐々に押し下げ、切り込みをかけます。
3) 切断(あるいは所定の切り込み)が終了したところでハンドルを持ち上げ、元の位置へ戻します。
4) 1回の作業が終わるごとにスイッチを切って回転を止め、次の段取りをしてください。

注)被切断物にトイシを急激に下ろさないで下さい。

⚠ 注 意

- **回転したままの段取りは絶対にしないでください。**
- **ハンドルに力を入れれば速く切れるとは限りません。力を入れすぎるとモータ部に無理をかけ能率も悪くなります。**
- **切断時間が1分以上かかる場合は途中で切り込みをやめ、10～20秒無負荷で運転してモータを冷却しながら作業してください。**
- **作業が終りましたら必ずスイッチを切り、さし込みプラグを電源コンセントから抜いてください。**

トイシの取り付け・取り外し

⚠ 警 告

- **万が一の事故を防止するため必ずスイッチを切り、さし込みプラグを電源コンセントから抜いておいてください。また、トイシ交換の際は必ず革手袋を着用してください。**

⚠ 注 意

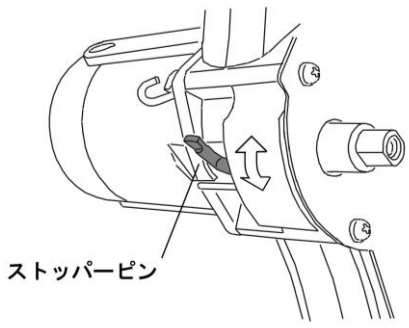
- **ディスク止ボルト(10mmボルト)は、必ず付属のメガネレンチを使って十分に締め付けてください。**

注 ストッパーピンを離したときに、確実に戻っている事を確認してください。

1. **トイシの取り外し・・・**

カバープレートを開きます。次にストッパーピンを下げながら、ギヤシャフトを回し、ギヤシャフトが固定される位置に合わせます。

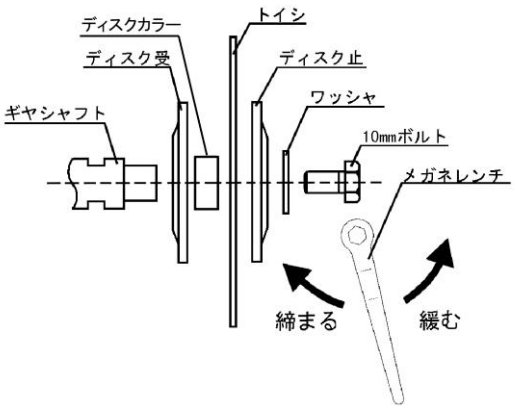
この状態で、17mmメガネレンチを10mmボルトに掛け、メガネレンチを左へ回し、ボルトを緩め刃物(トイシ)を取り外してください。



2. **トイシの取り付け**

ディスク受、ディスク止、ディスクカラー、面についているゴミをよく取り除いた後、取
*トイシの取り付け穴をディスクカラーに合

[ご注意] 機体の振動が大きい場合はトに固定してご使用ください。

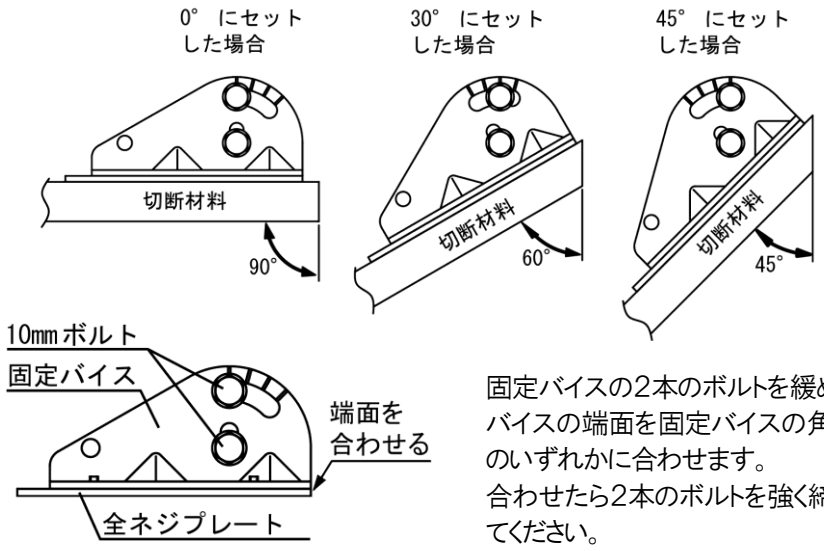


バイス

注 固定バイスの角度合わせ、移動等の作業時に、手がトイシに接近する場合があります。けがをしないよう、ご注意下さい。

1. 角度切り･･･　（全ネジプレート:（オプション））

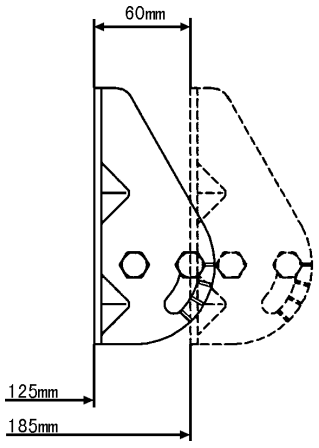
45°までの角度切りができます。（標準位置で可能）



固定バイスの2本のボルトを緩め、バイスの端面を固定バイスの角度のいずれかに合わせます。
合わせたら2本のボルトを強く締めてください。

注 1）全ネジプレートは、固定バイスの右側端面に合わせて固定して下さい。（4 参照）
*固定バイスの右側端面から、出ていますと全ネジプレートを切断してしまいます。
参考）角度切りのクランプの際に、サポートの効果が得られます。（右端面合わせ位置）

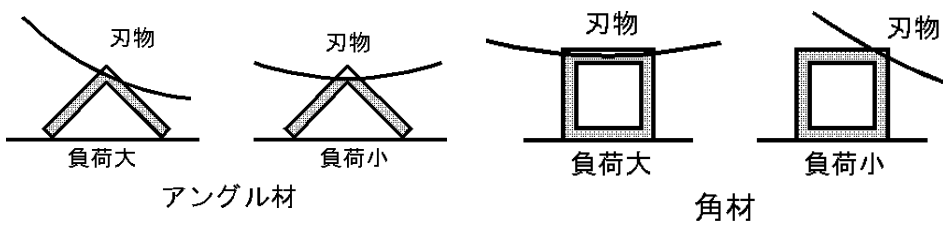
2. 固定側バイスの移動･･･



・工場出荷時は、最大バイス開き125mm（標準位置）にしてありますが、125mm以上の開きが必要の場合は2本のボルトを外して点線の位置に移動させます。
この場合、バイス開きは185mm（奥位置）にセットできます。（角度切りはできません。）

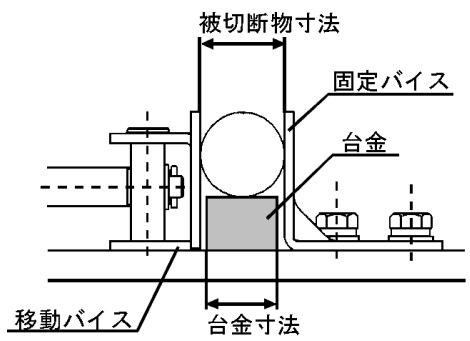
注1）全ネジプレート（別売:オプション）を取り付けた場合、最大幅が約5mm狭くなります。
・最大バイス開き寸法
標準位置:120mm　奥位置180mm
になります。

注1）　負荷の大小により、切断時間やトイシの減りが違ってきます。
材切断材の形状に合わせて、固定バイスの位置を移動したり、適当なあてものを使用し、材料のコーナーから切断を行う様に工夫すると、負荷を軽減できます。（下図参照）



3. 台金の使い方

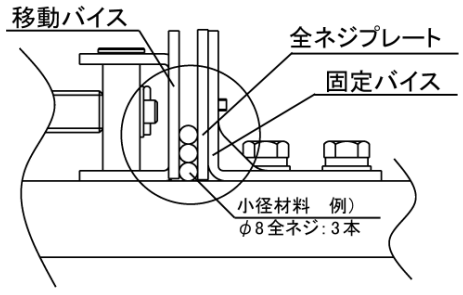
切断トイシが小さくなった場合は、被切断物の寸法より少し小さめの台金を移動バイスと固定バイスの間に入れて使用しますと経済的にトイシを使うことができます。



（被切断物より少し小さいものを使う）

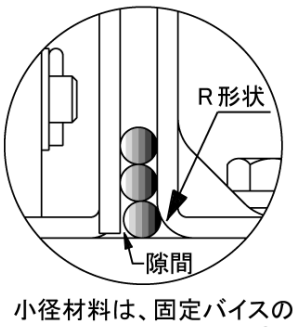
4. 全ネジプレート（オプション）の使用･･･

1）全ネジ･丸棒　等の小径材料のクランプとして使用。



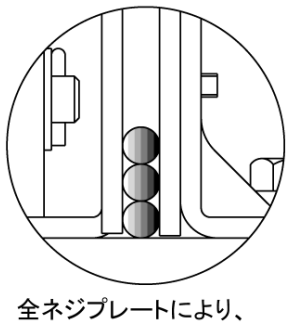
・小径の全ネジや丸棒等を、同時にクランプする場合、固定バイスの下端R形状を無くす事により、確実なクランプが行えます。

全ネジプレート無し



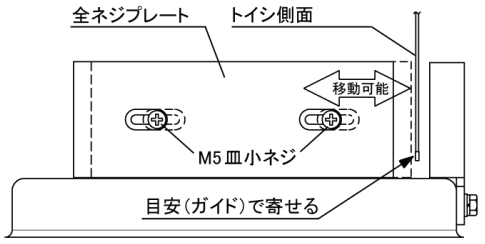
小径材料は、固定バイスのR形状等により、クランプが不十分になる。

全ネジプレート有り



全ネジプレートにより、R面が無くなり、確実にクランプが可能。

2）切断の目安（ガイド）としての利用。



・全ネジプレートをトイシ側面に近づける（2mm程度まで）事により、
全ネジプレートの端面を切断の目安（ガイド）として使用する事ができます。
・全ネジプレートの位置調整は、M5皿小ネジ2本を,お手持ちのプラスドライバーで緩めて行って下さい。
（外す事もできます。）
調整後は確実に締めて下さい。

注1)トイシ側面が、全ネジプレートと干渉しない事を必ずご確認下さい。
注2)目安としてのガイドですので、実際に切られる寸法は試し切り等でご確認下さい。

保守・点検

⚠ 警　告

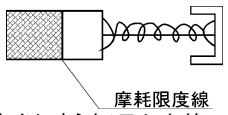
- **点検、手入れの際は、必ずスイッチを切り、さし込みプラグを電源コンセントから抜いておいてください。**

1.　各部ネジ点検……

各部取り付けネジで緩んでいる箇所がないかどうか定期的に点検してください。もし緩んでいる箇所がありましたら締め直してください。
緩んだままお使いになりますと、けがなど事故の原因になります。

2.　カーボンブラシの点検……

モータ部には、消耗品であるカーボンブラシを使用しております。
カーボンブラシの摩耗が大きくなりますと、モータの故障の原因となりますので、長さが摩耗限度になる前に新品と交換してください。



また、カーボンブラシはゴミなどを取り除いてきれいにし、カーボンホルダー内で円滑に動く様にしておいてください。

〔ご注意〕新品と交換の際は必ずサンコーミタチ純正のカーボンブラシをご使用ください。
カーボンブラシは、マイナスドライバーなどでホルダーキャップを外しますと取り出せます。

3.　モータ部の取り扱いについて･････

モータ部の巻線部分にキズをつけたり、ゴミ･油･水等をつけたりしないよう十分注意してください。

注　モータ内部にゴミやほこりがたまりますと、故障の原因となります。
定期的にモータを無負荷運転させて、風取り入れ口の風窓からエアーガンなどで湿気のない空気を吹き込みますと、内部のゴミやほこりの排出に効果があります。

4.　製品や付属品の保管

使用しない時の製品や付属品の保管は、安全で乾燥した直射日光の当たらない場所に保管してください。

ご修理の際は

重　要:本機は厳密な精度で製造されています。従いまして、ご自分で修理なさらないでお買い求めの販売店、または最寄りのサンコーミタチサービスセンターにお申し付けください。

お客様メモ ……

お買い上げの際、販売店名･製品に記載されている製造番号などを下欄にメモしておかれますと、修理を依頼されるときに便利です。

お買い上げ日　　年　　月　　日	製造番号
販売店（TEL）	

サンコーミタチ株式会社

〒390-1243　長野県松本市神林7107-34（臨空工業団地）
TEL（0263)40-0600(代)　FAX（0263)40-0622
ホームページ　http://www.sanko-mitachi.com

＊　製品および付属品は、改良のため仕様や外観を予告なしに変更することがあります。　A